



国際会長 (IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

“Let Us Walk in the Light—Together” 「ともに、光の中を歩もう」

“Fellowship across the Border” 「国境なき友情」

会長 舟田 正夫
副会長 古賀 健一郎
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Respect Y's Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

「広げよう ワイズの仲間」

“Extension Membership & Conservation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」

“Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

横浜クラブ会長 (CP) 舟田 正夫

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
野村 郁雄
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

松島 美一

イエスは言われた。「父が御自分の権威をもってお定めになった時や時期は、あなたがたの知るところではない。あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そしてエルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」こう話し終わると、イエスは彼らが見ている内に天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなった。

(使徒言行録1章7-9節)

今月のひとこと

「人の輪70過ぎても」

大高 治



かつての人気バラエティー番組「笑っていいとも」は1982年4月から2014年3月まで、8,054回も続きました。タモリのお話に乗って「友達の友達は、皆友達だ。世界に広げよう友達のワッ！」と頭の上に輪を作ったのでした。

前半は現役の時代、週末の短縮版を時々みる程度で、あまり好きな番組ではありませんでした。だが、何と長く続いたことでしょうか。このロングラン、どこに秘密があったのだろうか。

退職後は元の会社の人たちとは付き合わないと断言していた友が居ました。70歳を過ぎて友人を作るのは容易ではない、新しい友を作りたくないという人も居ます。しかしこうした決めつけは自然ではないと思います。多くの人は旧交を温められる人との交わりに加え、趣味やボランティアの仲間、地域社会の中で何等かの役割を果たしながら、新たな知人、友人に囲まれて、意義ある日々を過ごそうとしているのではないだろうか。

20万年前アフリカで生まれ、世界中に広がって行った人類は、何を求め、何に追われて、その地を後にしたのだろうか。企業の海外進出で大和民族も現在、民族大往来時代の真ただ中にあります。だが彼らは先に何があり、何が無いかわからないばかりでなく、簡単には戻れない長い一方通行でした。そして前からも後からも猛獣が襲いかかり、他の部族の襲撃や、大きな絶壁や濁流、海峽や海原もありました。人類は助け合い協力しなければ生きられないが、共同協力の輪があれば勝てる、新天地に辿りつけるという体験に次ぐ体験がDNAになって来たに違いありません。

私が住む町のシニアクラブは8年前に発足しました。クラブ発足に1人足りないと言われて入会しました。これも何かの縁、巡り合せです。お蔭で町内を歩く時、挨拶する人が増えました。またお互いほとんど面識が無かったという町内の南側と北側の人たちもシニアクラブの活動を通じて、交流の機会が増えたと喜ばれています。

シニアクラブで活動を始めると、会長会やスポーツ部会、ゴルフ会等の行事があります。現在、ゴルフは主力をグラウンドゴルフに切り替えましたが、そこでも人の輪が自然に生まれ、友人、知人の輪が増えています。シニアクラブへの

<2018年4月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
16名	メン 12名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 1名 合計 14名	81 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正出 席率 %	今月分 切手 0 g 現金 0円 年度累計 切手 0 g 現金 0円

<5月の行事予定>

EF/JEF

日	曜	時間	行事内容	場所
18-19	金	15:00	第一例会兼一泊研修会	上郷森の家
26	土	17:00	横浜YMCA会員総会	湘南とつか

入会を勧めた方から伊勢山皇大神宮の奉賛会へと輪が広がりました。以前からの横浜コンベンション・サポーターとしてのボランティアからYMCAを支援するワイズメンズクラブを知りました。当クラブは奉仕活動と共に自らの研鑽と仲間の輪を大切に、先輩、先達を敬う真面目な団体とします。この出会い、幸運な巡り合せと感じています。

いずれの組織も何らかの問題を抱えています。その解決策の討議や取組みはまた、輪の強化になって行きます。

太古の先人が生きぬくために積み上げて来た人間の共同協力の輪は、今や我々のDNAとなって社会参加を促し、楽しみを与えてくれ、心身の健康の維持増進にも役立っています。「天才とは足し算を続けた凡人」だと言われます。拘らない心で人に接すれば、時に輪から外れても修復され、別の輪も現れます。人の輪は幾つになっても足し算が続けられそうです。そして人の輪はまた人の和に通じると思う昨今でもあります。

「4月例会報告」

古田 和彦

日時：4月12日（木）18：30～20：30

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、伊藤メン・メネ、今村、大江、大高、金子、古賀、齋藤、野村、舟田、松島、古田
ゲスト：山田史子氏（卓話者）

古賀ワイズの司会により、舟田会長の開会点鐘で定刻に開始。恒例により、全員でワイズソング、ワイズの信条の唱和、続いて、古賀ワイズが今月の聖句「隣人を自分のように愛しなさい」（マタイ22：39）を朗読。ちなみにこの聖句は横浜YMCA2018年度聖句でもある。舟田会長からゲストとして卓話者の山田史子氏を紹介、松島ワイズの食前感謝、続いて食事となる。食事の間、2月23日開催の日本語スピーチコンテストのDVDを見る。

今月の卓話者は山田史子さん。公立小学校教師の後、JICA日系社会シニアボランティアとしてパラグアイ、ベトナム、



ブラジル、ミャンマー、カンボジアに派遣され日本語教師として活躍された。今回はそのうち2007年から2009年に派遣されたブラジルについて「日系ブラジル人ってどんな人？」と題して話された。概要次の通り。

ブラジルだが、成田からサンパウロまでは約28時間。ちょうど、地球の真裏に当たる。気候も反対、夏は冬、冬は夏で

ある。日本人がブラジルに渡ったのは1908年笠戸丸で781人が最初である。そして2018年現在、日系人は190万人と言われている。ただ、この間には他民族との混血が進んでおり、日系人が大幅に増えたわけではない。ブラジルでは1888年に奴隷解放が行われ、働き手が求められて日本他から移民が相次いだ。

山田氏が滞在中の2008年は移民100周年で盛大に祝賀行事が行われた。日本から皇太子殿下もお祝いに駆け付けた。山田氏はサンパウロから50キロメートルほど離れたモジダスクルーゼス市で、ここは日系人が多く、彼らに日本語を教えていたが、祝賀行事を垣間見ることができた。4月の7-8日、秋祭り。日の丸、こいのぼり、赤い鳥居が飾られ、生け花や茶道も披露された。6月18日は移民の日で慰霊祭が行われた。運動会もあり、そこではよさこいソーランが踊られた。

100年を超える月日を経た日系ブラジル人として、受け継いできたこと、そして今後とも受け継いでいきたい事は、「真面目」、「勤勉」、「忍耐」、「正直」であり、何事もやり通す精神力・根性であると締めくくられた。

卓話に続いてビジネス。今月はハッピーバースデー該当者がなかったが、記念品が渡されていなかった2月、3月の誕生日者（青木、大高、金子、古田各ワイズ）に渡され遅ればせながらお祝いし、ほぼ定刻に閉会した。ロバ献金10,000円。



「第3回 東日本区役員会報告」

金子 功

今年度第3回東日本区役員会は、去る4月7日（土）～8日（日）の2日間にわたり熱海ホテル聚楽にて開催されました。今年度の役員その他、出席可能な次期役員を加え総勢40名が参加しました。

開会礼拝、出席者確認の後、初日は理事初め4事業部の主任、並びに部長の活動報告、休憩をはさんで各委員会並びに選任委員会の委員長による活動報告でした。集合写真の後、夕食懇親会でした。

2日目は日曜礼拝を守りその後14の議案を審議しました。

主な決議事項は以下の通り：

1. 新クラブ設立の要件を「15名」から「5名」に変更。
 2. 「メネット会」を「ワイズメネット会」と名称を変更。
 3. 東新部信越妙高クラブの解散を承認。
 4. 宮内友弥次期理事（東京武蔵野多摩）の理事方針、2018-2019年度予算、行事予定を承認。
 5. 第23回東日本区大会（2020年6月）ホストクラブに北海道部十勝クラブの立候補を承認。
 6. 第28回アジア太平洋地域大会（2019年7月、仙台にて開催予定）の準備金として250万円をJEF基金から拠出することを承認。但し、剰余金が出た場合には返金する。
 7. 次年度東日本区事務所に小山憲彦ワイズ（東京サンライズ）を選任、承認。
 8. ユース活動費、YVLF費用の経理処理を特別資金会計より経常会計で処理する事を承認。
- 会議終了後は熱海クラブの計らいで希望者がモアーズ美術館を訪問した。
横浜クラブの会議出席者は金子湘南・沖縄部長。以上



「第3回 湘南・沖縄部評議会報告」

舟田 正夫

日時：2018年4月21日（土）15:00～17:00

場所：横浜中央YMCA 606教室

松島部書記が司会を担当。金子部長の開会点鐘の後、出席者によるワイズソング、ワイズの信条の唱和、青木部担当主事による聖書朗読・祈祷、金子部長の挨拶の後、司会者より出席者37名で定足数を満たすとの宣言があり、議事を進行。

1. 次の議案が審議・承認された。
 - 1) 佐藤節子次期部長より次期部書記、部会計以外の役員として、地域奉仕・Yサ事業主査；山田一男ワイズ（金沢八景）、会員増強事業主査；古賀健一郎ワイズ（横浜）、国際交流事業主査；今城宏子ワイズ（つづき）、ユース事業主査；若木一美ワイズ（とつか）が提案され承認。
 - 2) 佐藤節子次期部長より次年度湘南・沖縄部の監事として鈴木茂ワイズ（つづき）が提案され承認。
 - 3) 金子部長より次年度次期部長として森田幸二郎ワイズ（沖縄）が提案され承認。
2. 第3回東日本区役員会報告
2018年4月7日（土）熱海ホテル聚楽にて開催。主な議決案件7項目の報告のうち、第6項の第28回アジア太平洋



地域大会の準備金は250万円をJEF基金から拠出することが承認された。

3. 2018-2019年度東日本区予算（案）および同年度東日本区行事予定表の説明があり、ワイズ基金の委員長に高田一彦ワイズ（千葉）が就任したと報告された。
4. 2017-2018年度湘南・沖縄部の収支見込および各クラブからの入金、献金等の状況説明があった。
5. 国際BF代表 Mr. and Mrs. Todd Robinson を東日本区では5月31日から約1週間受け入れるが、湘南・沖縄部では6月6日（水）午後～6月7日（木）昼食まで金子部長が中心となり受入れを行う。
6. 地域奉仕事業報告書が3クラブ（とつか、つづき、横浜）から提出された。
7. 2018年4月6日開催の部エクステンション委員会の報告があった。
8. ユース事業部よりユースカフェを検討中、また、第7回東日本区オープンフォーラムの申込みは5月10日までの発言があった。

最後に監事講評、YMCAの歌、閉会点鐘で閉会となった
横浜クラブ出席者：青木、伊藤、金子、古賀、舟田、古田、松島 計7名。

「ハンク・ウィリアムズに魅せられて」

古賀 健一郎

今回初めて、所属クラブ以外の例会に出席した。横浜つづきクラブの4月の例会では、久保勝昭ワイズが「Country Music & I」と題して卓話をされた。音楽ファンの私は、横田ワイズのナレーションと伴奏も織り交ぜながら進行した、久保ワイズの軽妙なおしゃべりとギターそして歌のカントリーウエスタンの演奏に至福の時を過ごした。その中で、久保ワイズが傾倒されるカントリーウエスタンの巨匠、ハンク・ウィリアムズの生涯についても語られた。ハンクは黒人の路上演奏者に出会い、食事を提供する代わりにギターを習うことで、音楽の才能を開かせていった。栄光の影で、生まれつきの脊椎欠陥による背中への痛みを和らげるために酒の力を借り、アルコール依存症に陥った。依存症は、彼の才能と家庭生活を衝突させ、混乱した精神状態を招いた。そんな彼は、信心深い一面もあり、わずか29年の生涯を通して、Sacred (Gospel) ソングを多く作った。そこには、孤独・苦悩から解放されて心の安らぎを求めようとした彼の姿を見る。

感動の卓話の数日後、ハンク・ウィリアムズの半生を描いた、映画「アイ・ソー・ザ・ライト」を鑑賞し、さらに私も



また彼に魅せられてしまった。映画の中で、「誰もが闇を抱えて生きている。やりきれない怒り、悲しみ、後悔.....。僕がすべて歌にするよ。そうすれば、みんなが辛いことを忘れられるだろう」とハンクは言う。

久保ワイズは、卓話のタイトルの「Country Music & I」の「I」は、「自分」と人々への「愛」の意味だと言われた。ハンク・ウィリアムズもまた愛を求めて生きた一人だ。卓話の最後に皆で歌った曲は、数年前世界で感動をもって伝わった実話、死を覚悟した夫が66年間連れ添った妻に贈ったという「You Are My Sunshine」であった。久保ワイズの卓話のおしゃべりと演奏を中心に、例会全体から感じとることができた「横浜つづきクラブのぬくもり」は、いつまでも私の心の中に、心地良い気分となって残った。久保さん、そして横浜つづきクラブの皆様、楽しい時間を過ごさせていただき心から感謝申し上げたい。

第二例会報告

松島 美一

日時：4月26日(木) 17:00-19:00

場所：横浜中央YMCA 501号室

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、舟田、古田、松島。
協議・確認・検討事項

1. 今後の行事予定の確認
2. 一泊研修会の計画。古田ワイズ作製の研修資料を使用し、横浜クラブの今後の活動につき、自由討議する。例年通り湘南・沖縄部の各クラブ会長へ案内を送る。
3. ブリテン編集に関わる野村郁雄ワイズの後任に横浜YMCAスタッフを当てる。人選と依頼は青木担当主事に任せる。横浜クラブからは横浜YMCAに対し謝礼をする。
4. 神村ワイズの退会申出に対し、古賀ワイズが休会の勧誘をすることとした。
5. 会員増強のための横浜クラブのチラシ作製に使用する写真について討議した。
6. 熊本スピリットクラブとのDBC締結は継続審議とした。
7. 6月14日の第一例会の卓話者を野口丞治氏に決定した。

顔と元気を送りたいと願っています。

日時 5月29日(火) 18時試合開始予定

場所 横浜スタジアム(内野指定席)

横浜 DeNAベイスターズ VS 東北楽天イーグルス

費用 3,500円(税込)

申込 045-662-3721へお電話でお申し込みください。

■横浜YMCA会員総会のご案内

5月26日(土)に会員総会が実施されます。会員総会では、2017年度の事業報告・会計報告、2018年度の事業計画・予算案、常議員の選出、会員表彰等が行われ、横浜YMCAの全体像を知る良い機会ですので是非ご参加ください。

日時：5月26日(土) 17:00~20:00(受付開始15:30)

会場：湘南とつかYMCA 1階ホール

1. 2017年度事業及び会計報告

2. 2018年度事業計画及び予算の承認

※ 特別プログラム「ブランディングの取り組み紹介」

3. 常議員の選出

4. 会員表彰等

5月例会：一泊研修プログラム

日時：5月18日(金) 15:00~19日(土) 11:00

場所：横浜市民ふれあいの里「上郷・森の家」

第一日目 18日(金) (司会：伊藤ワイズ)

15:00~ 開会点鐘・会長挨拶・ワイズソング
ワイズの信条・聖句、
参加者紹介・プログラム紹介

15:10~ 研修会1
「財政面からクラブの課題と
その対策を考える」

17:10~ ビジネス・生活案内

18:00~ 夕食(食堂)

20:00~ 懇親会

第二日目 19日(土)

8:00~ 朝食(食堂)

9:00 研修会2 (司会：舟田ワイズ)

「横浜クラブのあらまほしき姿とは」

11:00~ 閉会点鐘 (舟田会長)

例会報告：大高ワイズ

6月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
2-3	土		東日本区大会	沼津
5	火	19:00	第81回Y-Y協議会	中央YMCA
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央YMCA
16	土	15:00	第4回部評議会	中央YMCA
28	木	18:30	横浜クラブ第二例会	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★

YMCA
だより

担当主事 青木 一弘

■横浜YMCA ベースボールデー2018

東日本大震災から7年が経過しました。しかし、大津波や原発事故の影響により、神奈川県内に避難(移住)されているご家族が約2,500人います。横浜YMCA東日本復興支援チャリティー・ベースボールデー2018では、横浜DeNAベイスターズの協力により被災地から神奈川県内に避難(移住)されているご家族・子どもたちをプロ野球観戦に招待します。なおこのイベントも今年で6回目を迎えました。私たちは、プロ野球観戦を通じて、東北に笑